

12/2  
まなま

# 安保法廃止へ共闘

20日に発足した「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(略称「市民連合」)。東京都内で記者会見した5氏の発言(要旨)を紹介しします。



安全保障関連法に反対する学者の会 有志、学習院大学教授  
**佐藤 学さん**

3カ月間、国民の8割が「成り立たせぬべきではない」と考へ、6割以上の国民が「反対」と表明していた安全保障関連法(戦争法)が国会で強行採決されました。日本の国形を壊すものであり、戦争しない国から戦争する国へと一歩踏み出した。それを踏まえて、院内・院外の共闘をさらに促進

するために市民連合を結成した

# 署名集め意思示す



戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会 有志  
**高田 健さん**

8月30日の国会前1万人全国運動をやってきたわけですから、100万人の行動を大きなひとつとして、戦争法制に反対するの国会前で、集まった市民から

次第です。  
(記者から無所属の統一候補が当選した後のことを聞かれて) たとは、ある市民連合で無所属で立って、当選してすぐ特定のどこかの政党に向かう、入ってしまう、ということになってしまいます。有権者としては、政党の支持までい

「憲法違反」野党は共闘というシチュエーションが雨の中あがり続けたんです。まさにこれが今回の市民運動を担ってきた多くの市民たちの声だったと私は思っています。  
強行採決されたからといって戦争法制は、重要選挙の欠かすことのできない重要争点だということを知り、2000万人の署名を集めることによって明らかにしたい。

# 子に希望見せたい



安保法制に反対するママの会 有志  
**西郷 南海子さん**

誰の子とも殺させないという思いは世界のママたちに共通だと思はれています。もしも次の選挙でまた与党が勝ってしまえば、子どもたちに何と云え

それは、二度と戦争しないからねというおとなの姿を子どもたちに見せることなのです。来年の参院選挙では誰の子とも殺させない政治を目指す候補者を一人でも多く国会に送り出したいです。選挙を待つだけではありません。安保法制の問題点を繰り返し訴えていきます。そのためにママの会でもパンフレットを2万部つくり、すでに1万部の申し込みがありました。これを各地の保育園や幼稚園で配り、さらに2000万人署名も呼びかけます。

# 野党統一へうねり



立憲デモクラシーの会 有志、法政大学教授  
**山口 二郎さん**

政党内の話し合いによる野党統一の共闘というすっきりした形がなかなか現実的に望めないという状況を見まして、年内に市民の側から野党に協力を呼びかける動きを始めたらい、ということまで今日の発足に至りました。

けれども、自民党政権への政策的対抗軸を提示することです。情報発信、街頭での行動、シンポジウムなどが予定されています。二つめは野党に合致した市民連合への個人賛同者は2000万署名を通じる形で募集し、賛同団体についてはメールやホームページを通じて受け付ける形で運動を呼びかけていきたいと思います。

# 市民社会を育てる



SEALDs=自由と民主主義のための学生緊急行動=有志  
**諏訪原 健さん**

この市民連合ができるというのは、どういう意味をもっているのか、ということです。それは、市民がリーダーシップを発揮して、そして社会を自分たちの手で動かしていく。そういう

いい、僕自身は考えています。直接的な目標というのは、参院選で勝つとてそこにマシストとしていくというのが、市民連合の目的ではありませんけれども、僕たち自身はそれについてかなり、もっと長い目で、この市民社会をさらに育てていく、厚みのあるものにしていくというところに対して、メンバーを揃えて、立憲主義であったり、民主主義であったり、あるいは平和主義であったりというものを、もう一度考え、その中で呼びかけていければいいなというふうに思っています。